

誰かのために働いているという実感

市税総務課 村山雄輝（一般事務 平成22年度採用）

小田原市役所を志望したきっかけ

就職活動を始める段階で、今までは支えられてばかりの人生だったので、これからは誰かのために働いているという実感が得られる仕事に就きたいと漠然と思っていましたが、そこで目にしたのは小田原市の採用ページです。採用ページには、情熱と熱意を持って職務に取り組み、自ら考えて行動し、課題や目標に果敢にチャレンジする人、人物を重視した採用方法であるということが書かれていました。公務員というと、採用試験が難しく、私にとってはとても遠い存在だと思っていましたが、小田原市の求める人物像は私のこれまでの経験をそのまま生かすことができるのではないかと思いました。



現在の仕事内容

私の配属された市税総務課での主な仕事は税金の徴収です。市役所内での仕事がほとんどで、来庁された方や、電話での納付の相談を受けるといったことです。ときには市民の方の家に直接訪問をしたり、差押えをするために銀行などに行くこともあります。

仕事のやりがい

市を運営するために欠かせない税金の徴収をする仕事なので、とても重要な仕事です。納付の相談を受ける場合は、相談者の現在の生活状況などによって対応が変わり、分割納付を受けるにしても、差押えをするにしても担当者の判断で行うので、担当者に多くの責任が掛かってきます。厳しい仕事ですが、電話をしたり手紙を出したりしたことにより納付があると、はっきりと数字が出て、成果が目に見えてわかるので、目的意識をしっかりと持って仕事ができます。また、入庁した一年目から先輩方と同じような仕事を任せてもらえるので、体力的にも精神的にもきついときもありますが、自分の方法で滞納整理を進めていけるので、充実感があって、とてもやりがいのある仕事です。

受験生の皆さんへのメッセージ

私は小さいころから野球漬けの毎日で、勉強よりも野球という生活をしていて、勉強は苦手でした。

そのような私が今、小田原市役所の職員として働いていることからわかると思いますが、採用に関しては筆記試験重視ではなく、面接試験を重視しています。人物重視なので、勉強の不得意な人も十分にアピールできると思います。

面接試験では、私がこれまでの人生で多くのことを経験してきたので、その経験から得たことをすべて出し切ったつもりです。受験者の皆さんもそれぞれがこれまでの人生でたくさんの貴重な経験をしてきたと思います。面接ではこれまでの経験で得たことをすべてを出して、自分の言葉でアピールすることがいい結果につながると思います。



上司から一言

価値観が多様化した現代は、常識という判断基準があいまいになっていますが、市税総務課では、（税負担の）公平、公正という、いつの時代も変わることはない価値観のもと、小田原市の土台を支える仕事に取り組んでいます。税務事務は、ともすると地味な印象を受けがちですが、職務内容は単純明快でありながら、非常に奥の深いやりがいのある仕事です。

村山君は、意欲的かつ着実に仕事をこなし結果を出しており、今後の成長を大いに期待しております。当課は、仕事を通じて自己実現を図りたいという皆さんにお勧めの職場です。